



# 慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所 第17回 安全安心サイエンス「感染症・バイオテロ研究会」

## 「バイオテロ早期探知システムとしての 症候群サーベイランスの実用: 新型インフルエンザでの運用経験」

**講演概要:** バイオテロの早期探知システムとしてアメリカをはじめ諸外国では症候群サーベイランスが運用されているが、日本では基礎的な研究にとどまっているのが現状であった。しかしながら本年5月以降の新型インフルエンザの国内発生を受けて、依然研究レベルであるが、全国をリアルタイムにカバーする症候群サーベイランスが実用的に対策に用いられている。具体的には薬局サーベイランスと学校欠席サーベイランスが全国規模で稼働(予定)である。薬局サーベイランスは、全国の保険薬局の5%強の薬局のご協力を頂き、毎日午前7時には前日のタミフル・リレンザの処方状況及びその一時的な解析結果が全自動で提供されている。学校欠席サーベイランスでは10都県の学校の参加を得て、症状別欠席者数の急増を日々監視する態勢が構築され、2学期から本格実施の予定である。本報告ではその内容と、新型インフルエンザ対策としての有効性について報告する。バイオテロと新型インフルエンザは、最初の病原体の放出が人為的あるいは自然現象化の差はあるが現象としては同じである。その意味で今回の新型インフルエンザの発生は、バイオテロ早期探知システムとしての症候群サーベイランスの評価のまたとないチャンスを与えてくれたと同時に、その普及に貢献したことは間違いない。

**講師: 大日 康史 氏**  
国立感染症研究所感染症情報センター 主任研究官

**講師略歴:** 1999年大阪大学社会経済研究所助教授  
2003年国立感染症研究所感染症情報センター主任研究官(現職)  
経済学博士・医学博士

**開催場所: 慶應義塾大学三田キャンパス  
東館6階 G-SEC Lab**

**開催日時: 2009年7月11日(土)  
16:00~18:00  
受付開始15:30~**

**当日連絡先: 03-5427-1293  
(14:00~15:30)**



**申込方法:** 参加を希望される方は下記のアドレスからお申込ください。「事前参加登録制」です。席に限りがございますので、定員に達し次第締め切らせていただきます。尚、お送りいただいた情報はプロジェクト内で管理しております。

**事前申し込み:** <http://biopreparedness.jp/>  
**申込締切:** 2009年7月8日 水曜日

2009年研究会テーマ

### 「異常な感染症の発生を知る」

バイオテロ対策における迅速な対応開始による  
被害軽減のためのState of the Art

コーディネーター: 齋藤 智也

慶應義塾大学助教 医学部熱帯医学寄生虫学

本研究会は、平成21年度文部科学省安全・安心科学技術プロジェクト「テロ等への医学的見地からの公衆衛生措置や医療的対策に関する調査研究(研究統括: 慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所 副所長・上席研究員 竹内 勤)」により実施しています。

慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所  
安全・安心科学技術プロジェクト事務局  
〒108-8345 港区三田2-15-45  
TEL: 03-5427-1293(内線23746)